

# 大震災・復興ニュース（第25報）

平成23年10月6日  
仙台地方振興事務所水産漁港部

## 1 水産業復旧・復興に向けた対応状況（国及び県全体の動き）

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

宮城県内で採取した水産物について、下記のとおり放射性物質の測定をしたので、その結果をお知らせします。

- 1 測定年月日 平成23年9月29日～10月5日
- 2 測定分析機関 東北大学及び（財）日本分析センター
- 3 測定結果 国が定めた暫定規制値を下回り、安全性に問題がないことが確認された。

放射性物質の値は漁獲日における値を示す。

水産物（漁獲日 平成23年9月20日～10月1日）（単位：ベクレル/kg）

種別	漁獲場所	放射性ヨウ素	放射性セシウム
サンマ	道東沖	不検出	不検出
カツオ	太平洋沖合	不検出	13.9
カツオ	太平洋沖合	不検出	12.8
ヒラメ	女川沖	不検出	17.8
ヒレグロ（カレイ）	金華山沖	不検出	4.1
マダラ	金華山沖	不検出	2.3
ミズダコ	金華山沖	不検出	不検出
ゴマサバ	金華山沖	不検出	26
シロサケ	気仙沼沖	不検出	不検出
スルメイカ	太平洋沖合	不検出	不検出
サンマ	道東沖	不検出	不検出
マガレイ	仙台湾	不検出	9.1
ミズダコ	仙台湾	不検出	不検出
ピンナガ（ピンチョウマグロ）	太平洋沖合	不検出	3.2
マカジキ	太平洋沖合	不検出	1.64
シロサケ	仙台湾	不検出	不検出
シロサケ	歌津沖	不検出	不検出
マガキ	松島湾	不検出	不検出
マガキ	石巻湾	不検出	不検出
シロサケ	阿武隈川（丸森町）	不検出	不検出
アユ	大川（気仙沼市）	不検出	29

食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性ヨウ素の暫定規制値 2,000 ベクレル/kg

食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性セシウムの暫定規制値 500 ベクレル/kg

## 2 管内の復興に向けた動き

### <トピックス>

#### 定置でのサケ漁が始まる

先週末より県南部の定置でのサケ漁が本格化している。

矢本・鳴瀬周辺の定置のサケ水揚げは、先週末で1ヶ統当たり1t前後となっており、9月30日に漁獲したサケは石巻魚市場でメス400～436円/kg、オス200～250円/kgで取引された。

水産技術総合センター内水面水産試験場によれば、今年度の回帰尾数は全県で290万尾前後と予測されており、来遊の少なかった昨年度を100万尾ほど超えるものと期待されている。



定置でのサケ漁（鳴瀬支所）

#### ワカメ養殖研修会を開催

10月6日、当部会議室において、塩釜市漁協と宮城県漁協塩釜第一支所の両組合員を対象に、ワカメ養殖研修会が行われた。

研修会は水産技術総合センターの田代技術主幹を講師に、養殖管理方法や近年松島湾で多発しているワカメの疾病について説明があり、穴あき症予防のために適正な密度管理が必要であることなどが説明された。

また、研修後は淡水の影響についてなど活発な質問が出た他、発症情報の共有の呼びかけや今年は養殖密度を薄くするなどの前向きな意見が相次いだ。



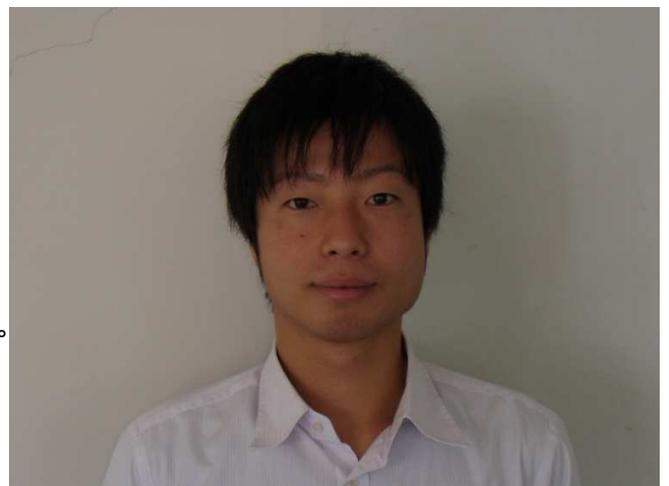
研修会の様子

#### 災害復旧応援職員の紹介

兵庫県の但馬水産事務所から来ました橋本といいます。但馬水産事務所は兵庫県北部の日本海に面した県営漁港を管理しており、それぞれの漁港ではズワイガニやホタルイカ等の漁が盛んに行われています。

漁港関係の業務は今年で2年目になり、兵庫県では第1種漁港から第3種漁港まで現場を担当していましたが、特定第3種の塩釜漁港の施設規模の大きさには驚きました。（前日入りした際に、歩いて漁港内を見学しましたが、広すぎて全てを見ることはできませんでした）

宮城県には、美味しいグルメや観光地がたくさんあるので、よく働き、よく食べ、空いた時間でよく観光と充実した日々を過ごしたいと考えています。1ヶ月という短い期間ですが、よろしくお願いします。



橋本拓也さん